

福知山市戦没者追悼のメッセージ

多くの尊い命が失われた先の大戦から75年の歳月が経ちました。

苛烈を極めた先の大戦において、ただひたすらに祖国の平和と繁栄を願い、ふるさと、御家族様を案じられつつ、戦禍に倒れ、かけがえのない生命を失われました郷土出身3,519名の皆様の御無念に想いを馳せるとき、悲しみの極みであります。

戦争を知らない世代が人口の8割を超えており、このような中で今私たちがあたりまえに享受できている平和、繁栄が、戦没者の皆様方の重く、尊い犠牲と、御遺族の皆様方の癒えることのない深い悲しみと幾多の御苦難の上に築かれてきたものであることを、絶対に忘れてはなりません。

そして、未来を担う次世代に、戦争の悲惨な歴史を尊い犠牲の上に今の私たちがいることを伝えていかななくてはなりません。

福知山市においても、犠牲となられた戦没者の御意志と、御遺族の皆様のお気持ちを心に深く刻み、二度と悲劇を繰り返さないことを誓い、平和の実現に向け、たゆまぬ努力をいたしてまいります。

令和2年度の福知山市戦没者追悼式を開催する準備を進めてまいりましたが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、参列いただく皆様の安全を第一に考えたうえでやむなく中止することといたしました。

また、献花式を8月15日に限られた参列者のみで執り行わせていただきます。

毎年開催してきた追悼式を中止することとなりましたが、ここに謹んで戦没者の御霊が安らかなることを祈念申し上げますとともに、御遺族の皆様のお健勝、御多幸を衷心よりお祈りいたします。

令和2年 8月 3日

福知山市長 大橋 一夫